

大阪 保険医新聞

11/5
2011年第1090号
(毎月5、15、25日発行)

協会 大阪府歯科保険医協
会 大阪府浪速区幸町1-2-33
大阪府浪速区幸町1-2-33
大阪府浪速区幸町1-2-33
大阪府浪速区幸町1-2-33

声上げることが大切

患者署名 1万6千筆超える

協会・保団連が50万筆を目標として取り組んでいる「保険でよい歯科治療」を求める国会請願署名の取り組みが広がっている。お金の心配がない歯科医療を求める国民や医療関係者の願いを国会へ届けようと、会院内所や協力団体から連日のように送られている。協会集約分は1万6千筆を超えた。協会は年内5万筆の目標を達成するために、対話を重視した会員訪問に役員・事務局が一体となって取り組んでいる。

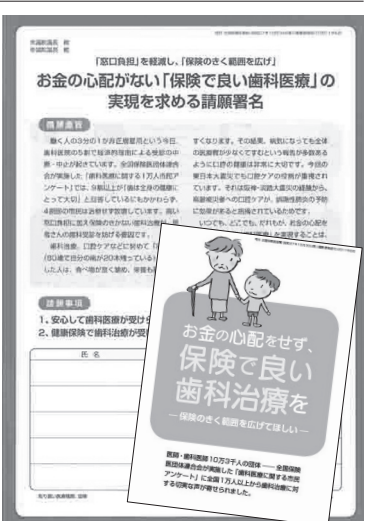
保険でよい歯科

10月27日までに1190院所を訪問し、534人と対話した。地域の歯科健診や街頭宣伝などにも取り組み、6月中旬の署名開始以降、1万6千筆を集めている。訪問・対話を通じて署名推進の呼びかけに応じている会員も増えている。

協会とつながりのなかった団体でも取り組みが広がっている。大阪府南部地区が西成区老人クラブ連合会に申し入れたところ、500人分の署名用紙を預かりたいと応じてくれた。

同時に取り組んでいる、診療報酬引き上げなどを求める会員署名も836筆に達した。

対話では会員から「患者さんで窓口負担を気にされている方がいる」「お金がないため治療を中断する患者さんが多い」「無保険で、一文無しで痛みを耐えかねて受診してきた患者さんがいる」



「た」など、経済的な負担から安心して歯科医療が受けられない患者の実態が語られている。

取り組みへの参加呼びかけには、「取り組みは患者に納得してもらえない」「受付に署名を置いておくよ」「微力でも声を上げることが大切。」

訪問ではダブル選挙が見込まれる府知事・市長選挙についても対話している。この間、協会と大阪市内4地区は、知事選で梅田章二氏(明るい民

それが国を動かすという、発信し続けたい」など、協力を申し出る声が出されている。

大阪選出の国会議員に要請した。参加は、下井戸昭介副理事長、中西幹夫・中村新太郎・森啓各理事、永田悦夫顧問、古田光行監事、西川勝美歯科技士ら13人。

面談に応じたのは、萩原仁(民主)、森山浩行(民主)、吉井英勝(共産)の各衆院議員と山下芳生(共産)参院議員。山下議員は「TPPや一体改革の問題が山積するなか、国民が安心して暮らすような社会保障を拡充

子ども医療費助成拡充費用捻出せず

関西二期人工高関連152億円、水と緑の健康都市(箕面森町)関連53億円、安威川ダム建設50億円、阪神高速道路延伸30億円……2011年度に府が計上した大型プロジェクトの予算額の1割が削減された。例え、府がWTCビルの購入に

歯科改善求め国会要請

保険でよい歯科医療を大阪連絡会 集会で厚労省にアピール

引き下げや保険範囲の拡大を求めて10月20日、大阪選出の国会議員に要請した。参加は、下井戸昭介副理事長、中西幹夫・中村新太郎・森啓各理事、永田悦夫顧問、古田光行監事、西川勝美歯科技士ら13人。

面談に応じたのは、萩原仁(民主)、森山浩行(民主)、吉井英勝(共産)の各衆院議員と山下芳生(共産)参院議員。山下議員は「TPPや一体改革の問題が山積するなか、国民が安心して暮らすような社会保障を拡充

主大阪府政をつくる会)、大阪市長選でわたし孝一氏(大阪市をよくする会)と政策協定を結びそれぞれ推薦を決めた。会員からは「社会保障予算を増やさない」とアカン(橋下知事は文化施策を切り捨てて良くなる)など、府政転換を願う意見が出されている。

震災募金に協力いただきありがとうございました

協会・保団連が取り組んできた①被災地救援募金②被災会員への救援募金は、10月末でいったん受け付けを終了しました。会員の皆様からお寄せいただいた募金総額は、1289万3840円(①1166万3840円②123万円)となりました。このうち、宮城県355万4614円、福島県と岩手県に各355万4613円、茨城県に100万円を送金。被災会員への募金は、全額を保団連に送金の上、現地に届けました。ご協力に心から感謝を申し上げます。

ダブル選挙

橋下府政・平松市政を検証

現大阪府・大阪市政が発足して約4年。「行政改革」を続けてきたにもかかわらず、府民の生活状況は悪化の一途をたどっている。失業率は6.9%に上昇し、沖縄県に次ぐペースで転落。生活保護率は全国平均の2倍超の29.2%に。府民所得は年間平均32万円も減少し、4世帯に1世帯(37万3528世帯)が国保料を払えない状態になっている。

子ども医療費助成拡充費用捻出せず

関西二期人工高関連152億円、水と緑の健康都市(箕面森町)関連53億円、安威川ダム建設50億円、阪神高速道路延伸30億円……2011年度に府が計上した大型プロジェクトの予算額の1割が削減された。例え、府がWTCビルの購入に

「改革」が生活苦に拍車

拡充の機会失った医療・福祉

府・市が関西財界の利益に直結する大型開発を繰り返したことで、福祉施策を拡充する機会が失われていった。例えば、医療費減免の拡充(30億円)、千里救命救急センターへの補助復活(3億5千万円)の補助復活(3億5

「不要不急」など、批判的になっているものばかり。橋下知事は「企業に儲けてもらい、国民の所得を上げ」と主張するが、労働者の給与は下落を続けている。

「不要不急」など、批判的になっているものばかり。橋下知事は「企業に儲けてもらい、国民の所得を上げ」と主張するが、労働者の給与は下落を続けている。

社会保障に回さず大型開発に2兆円

現府・市政は今後、「大阪都」「関西州」を通じて2兆円規模の超大型開発を推進する方針を示している。社会保障に予算が回らないことは明らかだろう。安心・安全・防災に強い大阪をつくるために府政・市政の転換が求められている。

大型開発に投じる府の予算額(11年度)	
関空2期事業	165億円
水と緑の健康都市(箕面森町)関連	53億円
安威川ダム建設	50億円
阪神高速道路延伸	30億円

医療・福祉拡充に必要な予算額	
子ども医療費助成を就学前に拡充	23億円
低所得者の医療費減免	30億円
千里救命救急センターへの補助復活	3億円
国保料1世帯3千円値下げ	45億円

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

歯界 高校生の頃か「火縄燻るバスターイーユ」と丸暗記した1789年、フランスの三部会でルイ16世をギロチンに架けるかどうかの投票が行なわれた。以後、選挙や投票は紛糾した議論に決着をつける民主主義の基本ルールとして定着した。

国勢選挙では論点が多過ぎて、権力側はマスコミを使って自分側の不利な論点を巧みにばかしたりすり変えたりする。選挙戦の終盤ではスローガンが単純な人気投票のレベルまで劣化し愚衆政治の様相を露呈させる。

地方選の場合の論点は市民生活に直結するもので、ぼかす余地が少なく具体性がある。清濁も殆ど混入されずに自分との利害の一致不一致さえも一見識別しにくい。民に優しいのは言葉だけで、投下する費用金額から大企業優先の政策も隠しようがない。

一票差でルイ16世はギロチンに架けられたがその1票は歴史を変えた。府政市政の是非評価を表す一票も大阪を動かすだろう。